九州圏広域地方計画中間とりまとめ（素案）概要版

（対象区域：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

国土交通省

令和６年１２月９日時点版

現状・課題

【基幹産業や再生可能エネルギーなどを背景に高い成長力を有するものの、人口減少や大規模災害などの課題も存在する九州圏】

アジア大陸に最も近い圏域で、アジアの主要都市とも近接。アジアの玄関口（ゲートウェイ）として貿易やインバウンドが拡大。

自動車産業や半導体産業、農林畜水産業等の基幹産業が堅調に推移。近年はIC（集積回路）生産額の全国シェアが大きく伸び、グローバルな産業生態系を形成。

人口減少、少子高齢化が進み、担い手、後継者不足が顕在化。都市機能の維持・定住促進には、時間距離の短縮による広域的な生活圏の構築が必要。

世界自然遺産や温泉など豊かな自然環境を保有。一方で風水害・土砂災害・火山災害や南海トラフ巨大地震等の災害への対応や交通基盤の冗長性確保が必要。

将来像・目標

【将来像】アジアの成長センター『アイランド九州』 ～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

【目標１】成長エンジン「アイランド九州」～交流と変化を競争力へ～

ゲートウェイ機能を強化し、多様な人々が集い賑わう国際交流拠点を形成することで、国際競争力の向上とイノベーションによる新たな産業の創出を促し、圏域内の経済や暮らしを成長させるとともに、その効果を国内他圏域へ拡大する重要な役割を果たす。

【目標２】自立型広域連携「アイランド九州」～快適で幸福なくらしへ～

成長が離島・半島・中山間地域まで行き渡り、幸福度の高い魅力的な生活環境を構築するため、デジタルとリアルが融合し都市の利便性と地方の快適性が共生した地域生活圏の形成を目指す。

【目標３】強く美しい「アイランド九州」～持続可能でしなやかな社会へ～

地震や豪雨、火山等による大規模自然災害等に対し、強靭な九州圏を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする、強く美しい圏域を目指す。

広域連携プロジェクト（PJ）

PJ1 アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長拠点プロジェクト

ゲートウェイ機能や自然・文化を活かした国内外との交流・連携の促進　等

PJ2 ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携プロジェクト

都市・地域生活圏・集落生活圏をシームレスに結び、活力を創出　等

PJ3 強みや特色を活かした持続可能な産業振興プロジェクト

新生シリコンアイランド・カーアイランド・フードアイランド・観光アイランド九州の実現　等

PJ4 中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト

都市機能の強化や多様な人材の活躍により魅力ある圏域の形成　等

PJ5 離島・半島・中山間地域・都市を繋ぐ地域生活圏形成プロジェクト

デジタルや様々な主体の取組により離島・半島・中山間地域の地域生活圏を形成　等

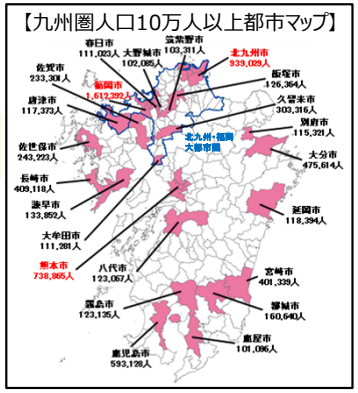
PJ6 経験を活かした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト

防災・減災、強靭化の推進と、豊かな環境を活かしたカーボンニュートラルの実現　等

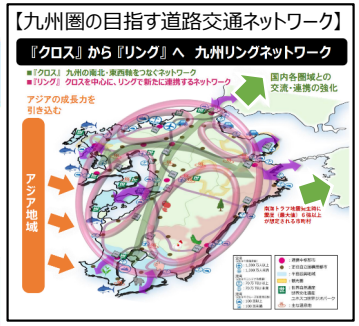
PJ7 国内他圏域との連携プロジェクト

活発なヒト・モノ・情報・エネルギーの流動による経済の好循環を生み出す連携　等

【九州圏人口10万人以上都市マップ】



【九州圏の目指す道路交通ネットワーク】



【各プロジェクト（PJ)の施策（抜粋）】

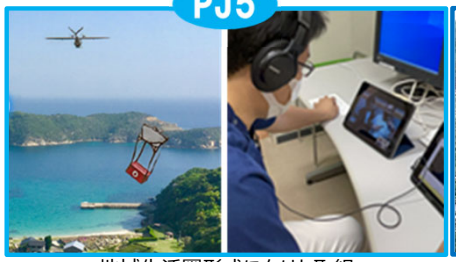
PJ3

新生シリコンアイランド九州実現に向けた取組
【くまもと半導体産業推進ビジョン】

PJ4

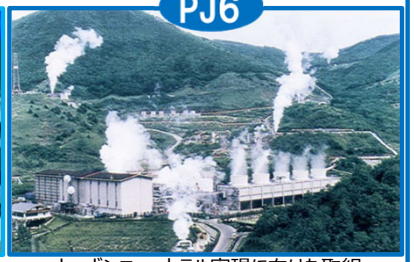
都市機能を強化する取組
【天神ビッグバン】

PJ5



地域生活圏形成に向けた取組
【長崎県五島市でのドローン配送や遠隔医療】

PJ6



カーボンニュートラル実現に向けた取組
【大分県の温泉を活かした地熱発電】

※本資料は、九州圏広域地方計画協議会や、九州圏広域地方計画有識者会議における議論等を踏まえ、令和6年12月時点での検討状況を整理したものであり、今後、広域連携プロジェクトに関する記述内容の追記・更新や時点修正など、必要な追加・変更を行うものである。